2026年11月3日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
9,400万kW
17時30分、93,998 MW（10エリア同時刻合計）

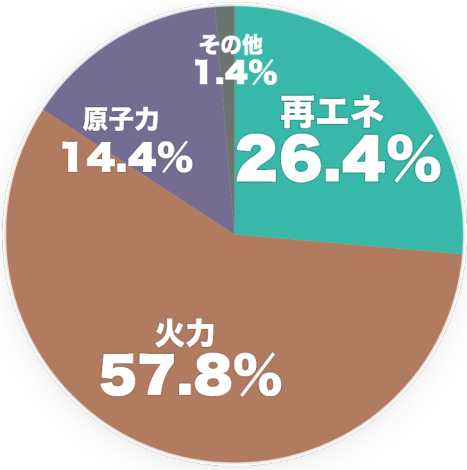
☀ 太陽光ピーク
4,200万kW
11時、42,003 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
257万kW
6時30分、2,570 MW

◇ 再エネ最大需要比
58.5%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
115 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
110 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 38.0%

31.5 GWh

出力抑制量

11.0 GWh

最大: 九州 5.3 GWh

揚水・蓄電の充電

64.2 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、18:00に2,996万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで38.0%でした。
- 出力抑制は東北、中国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**26.4%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**544 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,063 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**58.5%**	11時
出力抑制量	**11.0 GWh**	最大: 九州
揚水・蓄電の充電	**64.2 GWh**	発電構成比には含めない

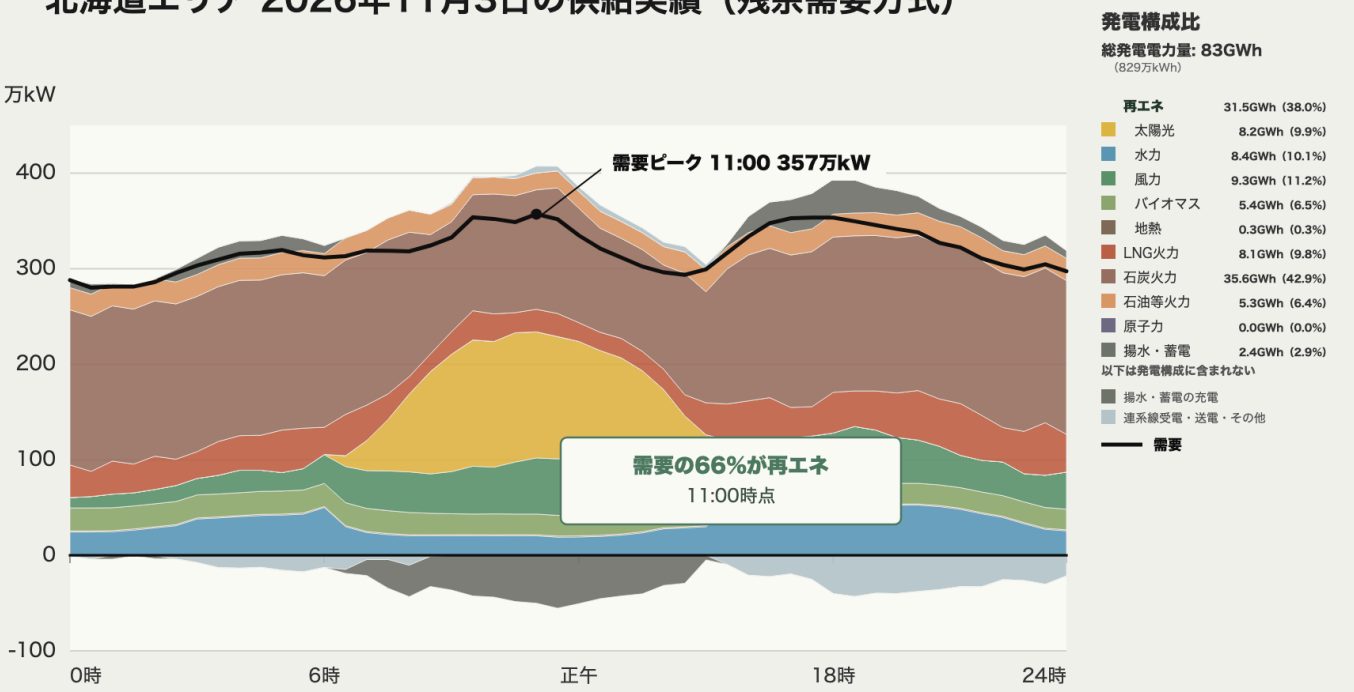
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**38.0%**	**31.5**	**0.0**	**送電 2.9**
東北	**34.6%**	**108**	**1.2**	**送電 110**
東京	**19.9%**	**107**	**0.0**	**受電 115**
中部	**31.7%**	**85.6**	**0.0**	**受電 63.2**
北陸	**37.0%**	**28.1**	**0.0**	**送電 11.0**
関西	**19.7%**	**53.4**	**0.0**	**受電 54.6**
中国	**24.7%**	**37.5**	**4.6**	**送電 10.7**
四国	**25.3%**	**26.2**	**0.0**	**送電 48.0**
九州	**27.0%**	**63.1**	**5.3**	**送電 28.3**
沖縄	**14.9%**	**3.2**	**0.0**	—

2026年11月3日の供給実績

北海道エリア

再エネ
31.5GWh
（発電電力量ベース38.0%）

北海道エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
82.9GWh

需要ピーク
11:00、357万kW

連系線・その他
3.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

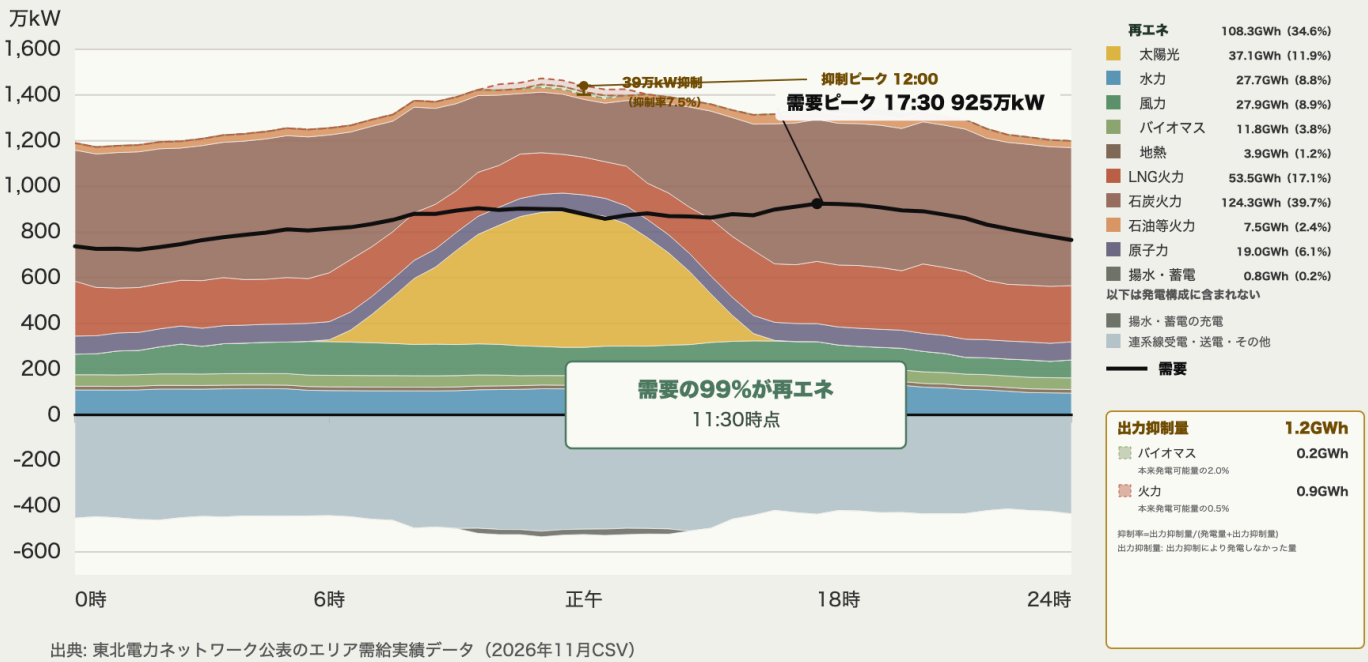
北海道は、太陽光ピーク135万kW、風力ピーク60万kWで、時間別の再エネ最大需要比は66.9%だった。

2026年11月3日の供給実績

東北エリア

再エネ
108.3GWh
（発電電力量ベース34.6%）

東北エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
313.3GWh

需要ピーク
17:30、925万kW

連系線・その他
109.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.2GWh

出力抑制
1.2GWh

概況

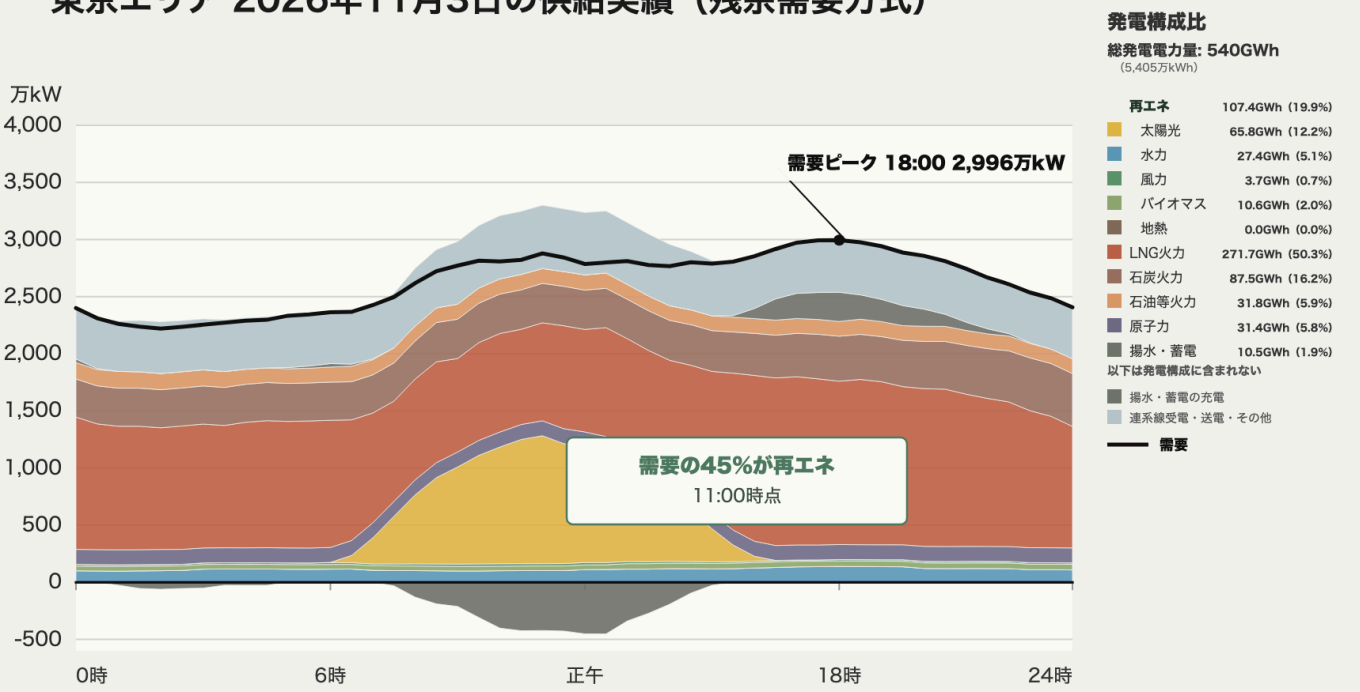
東北は、太陽光ピーク596万kW、風力ピーク148万kWで、時間別の再エネ最大需要比は101.2%だった。

2026年11月3日の供給実績

東京エリア

再エネ
107.4GWh
（発電電力量ベース19.9%）

東京エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
540.5GWh

需要ピーク
18:00、2,996万kW

連系線・その他
115.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
23.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

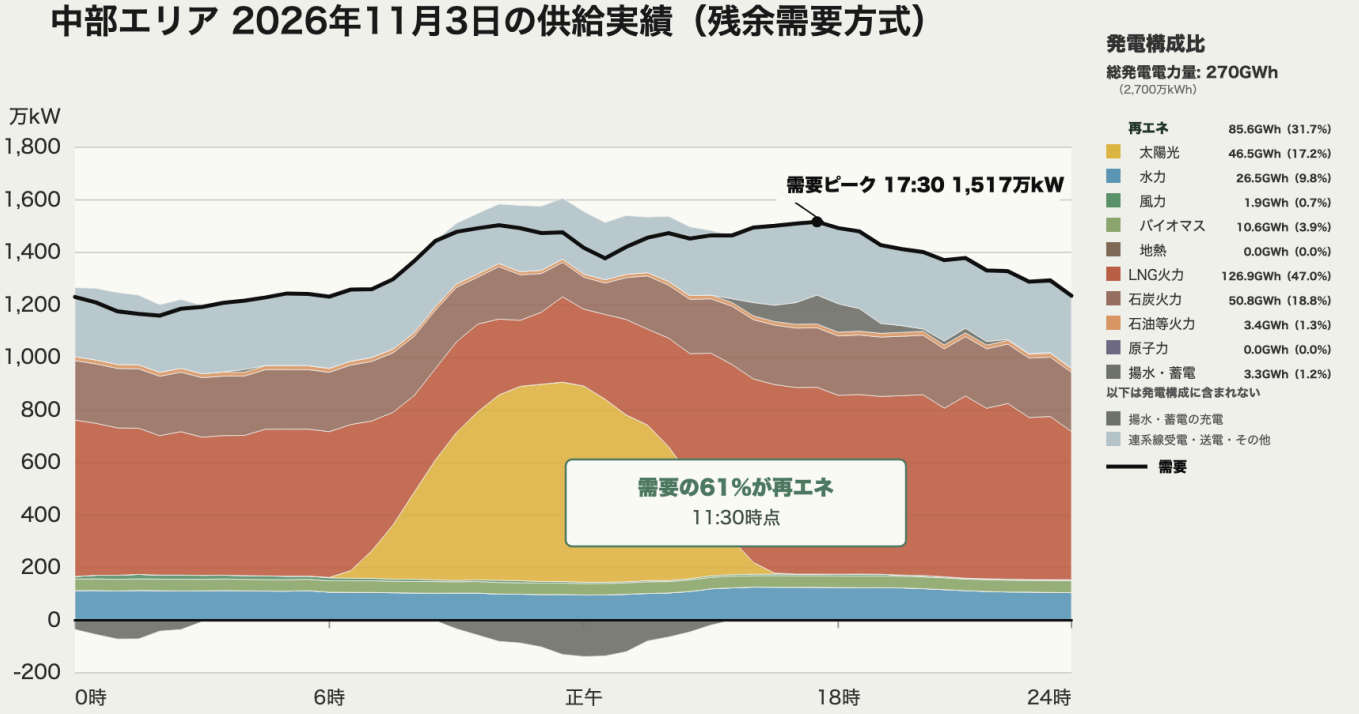
東京は、太陽光ピーク1,120万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は44.6%だった。

2026年11月3日の供給実績

中部エリア

再エネ
85.6GWh
（発電電力量ベース31.7%）

中部エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
270.0GWh

需要ピーク
17:30、1,517万kW

連系線・その他
63.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
7.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

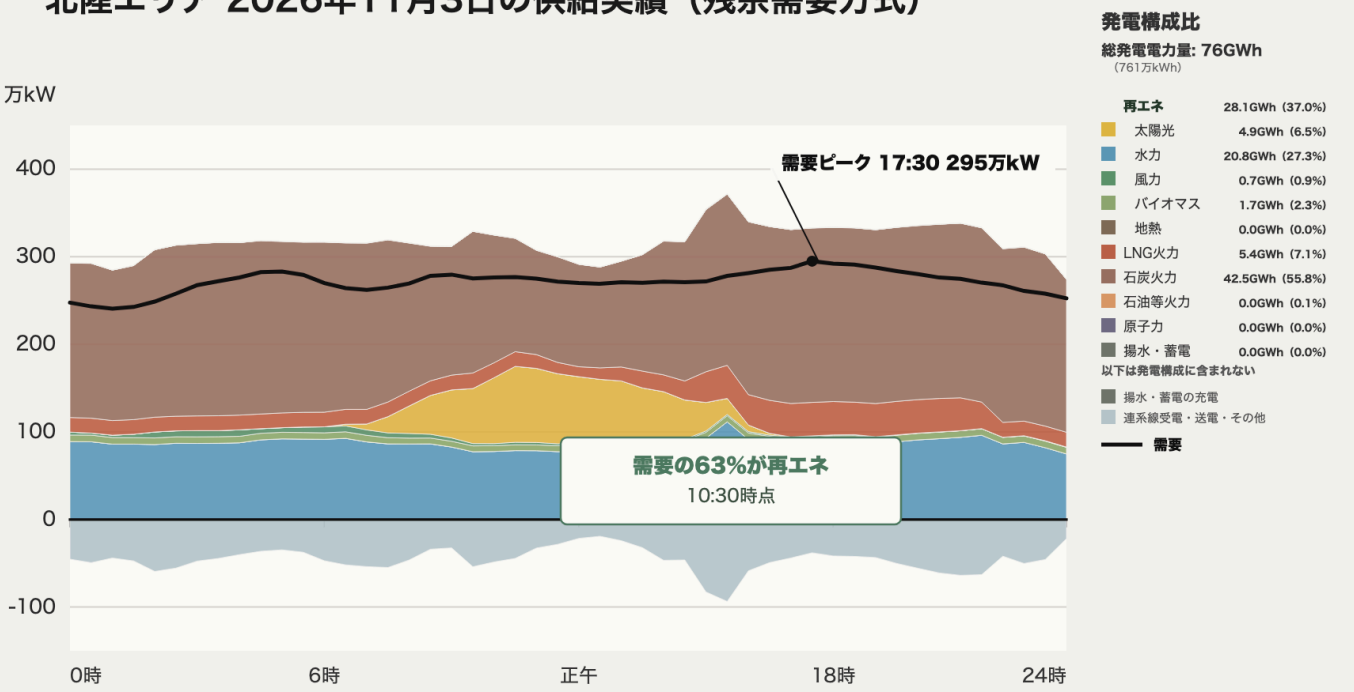
中部は、太陽光ピーク759万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.9%だった。

2026年11月3日の供給実績

北陸エリア

再エネ
28.1GWh
（発電電力量ベース37.0%）

北陸エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.1GWh

需要ピーク
17:30、295万kW

連系線・その他
11.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

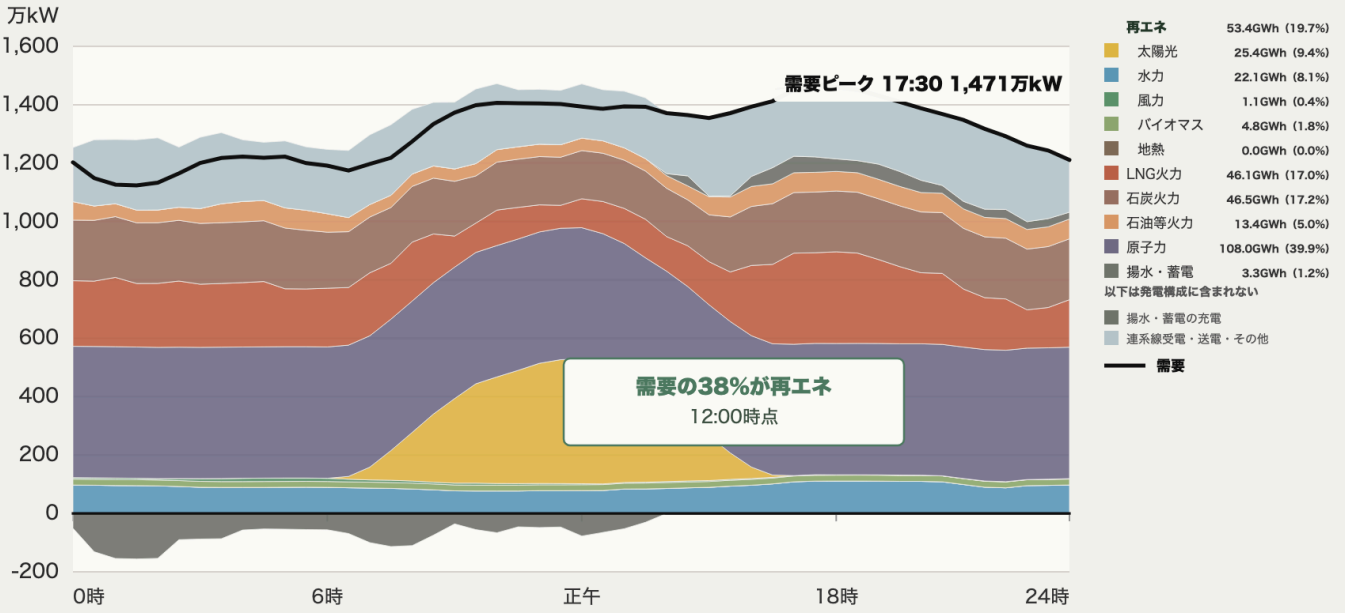
北陸は、太陽光ピーク87万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.2%だった。

2026年11月3日の供給実績

関西エリア

再エネ
53.4GWh
（発電電力量ベース19.7%）

関西エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
270.7GWh

需要ピーク
17:30、1,471万kW

連系線・その他
54.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
10.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

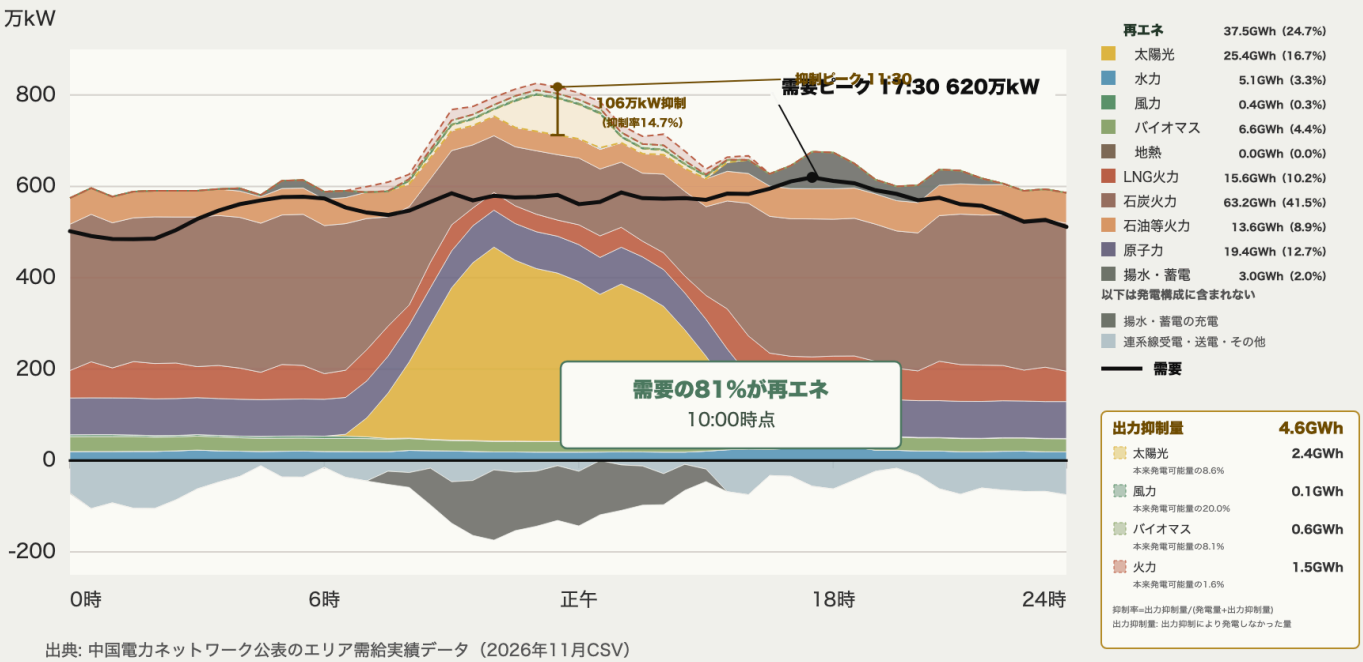
関西は、太陽光ピーク427万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は38.0%だった。

2026年11月3日の供給実績

中国エリア

再エネ
37.5GWh
（発電電力量ベース24.7%）

中国エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
152.2GWh

需要ピーク
17:30、620万kW

連系線・その他
10.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
7.2GWh

出力抑制
4.6GWh

概況

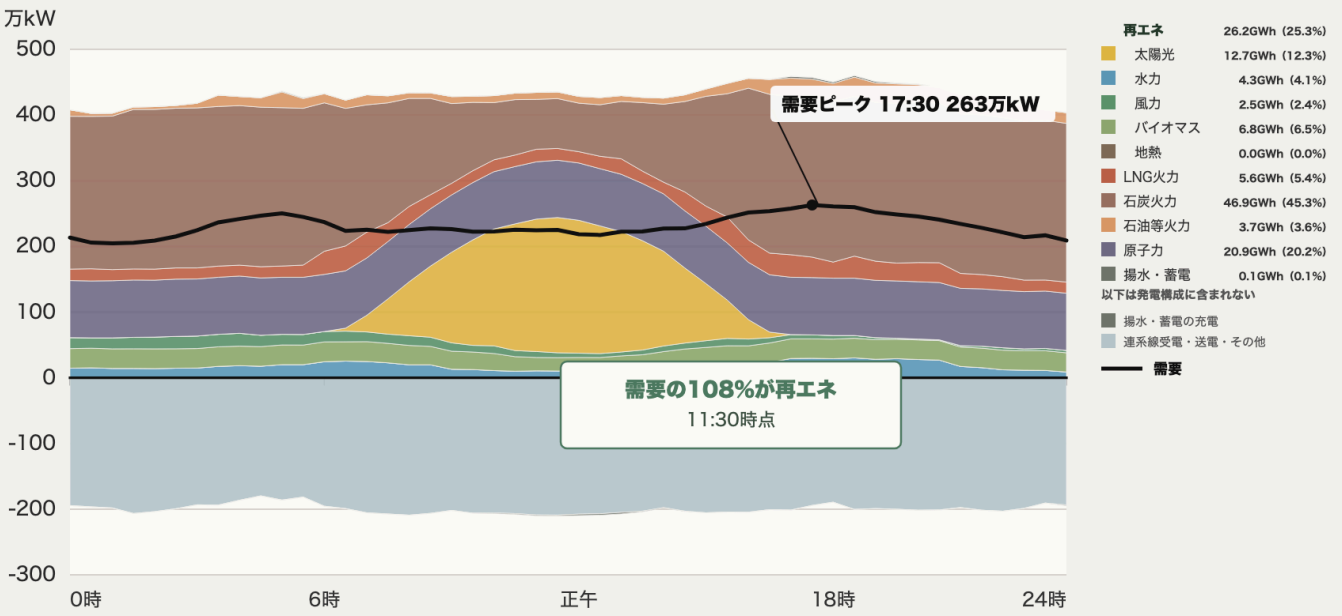
中国は、太陽光ピーク425万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は80.6%だった。

2026年11月3日の供給実績

四国エリア

再エネ
26.2GWh
（発電電力量ベース25.3%）

四国エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
103.4GWh

需要ピーク
17:30、263万kW

連系線・その他
48.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

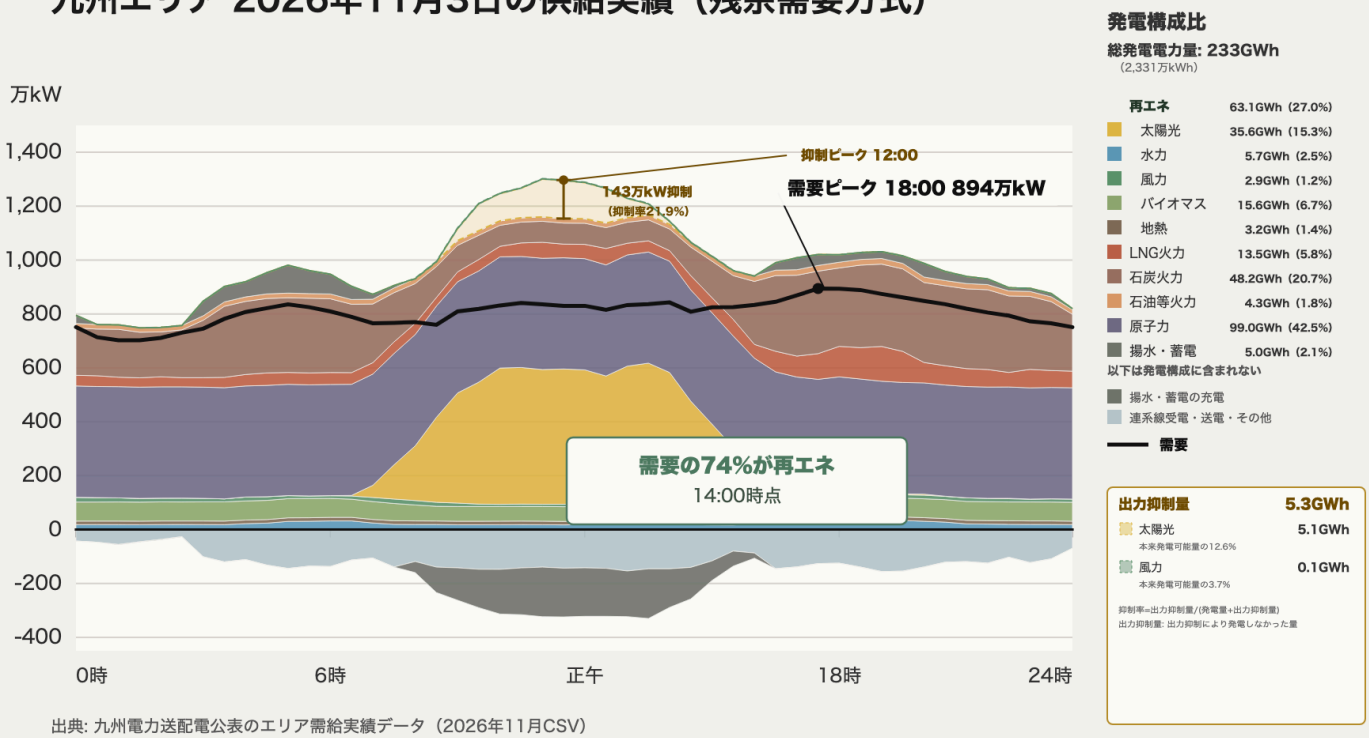
四国は、太陽光ピーク206万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は109.7%だった。

2026年11月3日の供給実績

九州エリア

再エネ
63.1GWh
（発電電力量ベース27.0%）

九州エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
233.1GWh

需要ピーク
18:00、894万kW

連系線・その他
28.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
11.1GWh

出力抑制
5.3GWh

概況

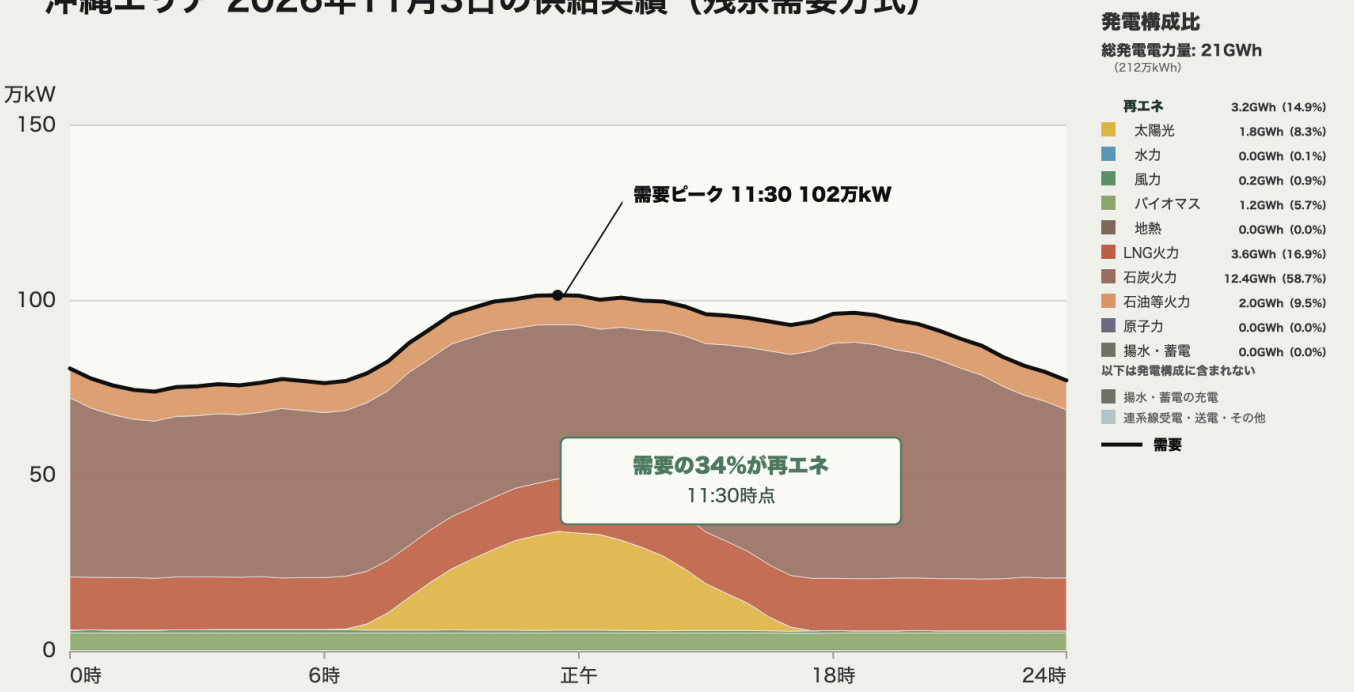
九州は、太陽光ピーク523万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は73.8%だった。

2026年11月3日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.2GWh
（発電電力量ベース14.9%）

沖縄エリア 2026年11月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年11月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
21.2GWh

需要ピーク
11:30、102万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は33.6%だった。